



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社 東名
代表者名 代表取締役社長 日比野 直人
(コード番号: 4439 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 執行役員管理本部長 山崎 賢治
(TEL 059-330-2151)

2026年8月期第2四半期累計期間(連結)の
業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月15日に公表いたしました2026年8月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、2026年8月期通期の業績予想に変更はありません。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2026年8月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,732	百万円 1,737	百万円 1,758	百万円 1,227	円 銭 40.93
実績値(B)	14,942	1,655	1,649	1,133	38.42
増減額(B-A)	△1,789	△82	△109	△94	
増減率(%)	△10.7	△4.7	△6.2	△7.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年8月期第2四半期)	14,530	1,741	1,783	1,244	41.71

(注) 当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、電力小売販売における電力取引単価が当初想定していた単価に比べ低水準で推移したことにより、電力小売販売のサービス顧客への請求額が業績予想で想定していた金額を下回り、前回発表予想との間に差異が生じました。

営業利益及び経常利益につきましては、温暖化の影響で気温が前年同期を上回って推移したことから、電力小売販売のサービス顧客一人当たりの電力使用量が前年同期と比較して減少したことにより、業績予想で想定していた金額を僅かに下回り、前回発表予想との間に差異が生じました。

なお、2026年8月期通期連結業績予想及び個別業績予想につきましては、電力小売販売の契約保有件数が順調に増加していること及び電力小売販売の仕入先である日本卸電力取引所(JEPX)の現在の電力取引単価は、一時より下がり安定基調であります。夏季の電力需要期までに何らかの理由で原燃料価格が再び

高騰する可能性を考慮し、現時点では、2025年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上